

諏訪時代の小口太郎

—歌が生まれた背景—

2024

9.10 Tue ▶ 11.30 Sat

明治30年(1897)に長野県諏訪郡湊村(現岡谷市)に生まれた小口太郎は、旧制第三高等学校(現京都大学)に進学し水上(ボート)部に入部。同部で行われた琵琶湖周航の際に、今津の宿で自作の詞を披露しました。これが「ひつじぐさ」の曲にのせられて生まれたのが「琵琶湖周航の歌」です。小口は26歳で早世しますが、彼が作詞した「琵琶湖周航の歌」は今も多くの方々に愛され、そして歌い継がれています。

今年是小口太郎没後100年目にあたり、三高入学以前(諏訪時代)の小口太郎にスポットを当てた企画展を開催します。彼はどのような環境で生まれ育ったのか？諏訪時代の逸話から見える人柄は？館蔵資料から「琵琶湖周航の歌」が生まれた背景に迫ります。



琵琶湖周航の歌資料館

滋賀県高島市今津町中沼1丁目4-1

今津東コミュニティセンター1階

TEL 0740-22-2108

開館時間 9:00~17:00

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌平日が休館)

入館料 無料